

令和5年度 第1回 内灘町男女共同参画推進委員会

- 【日 時】 令和5年9月4日（月）15：30～16：30
【場 所】 内灘町役場 3階 301・302会議室
【出席委員】 花輪委員、葛城委員、岡野委員、山崎委員、源代委員、春田委員（6名）
【事務局】 文化スポーツ課男女共同参画室 中村室長、今井課長補佐、立川主事

会 議 内 容

1 挨拶

委員長 花輪 由樹

2 議件

(1) 令和4年度内灘町男女共同参画推進状況報告書について

事務局) 委員の皆様事前に報告書を送付し、質問があった部分を中心に説明する。

まず、報告書3頁の教育センター事業について、「令和4年度の来所相談が倍増しているのはコロナ禍が背景なのか。」という質問があったが、平成29年度から令和元年度の3カ年平均の来所相談件数は約120件であったため、令和4年度件数はコロナ禍前に戻ったものと考えられる。電話相談が0件となっているのは、初回電話があった際にカウンセラーとの相談を希望され、すべて来所相談に繋がったためである。また、同じく3頁の職場体験については、令和4年度はコロナ禍のため、中止とした。令和5年度についても実施を検討したが、受入を制限している事業者が多く、実施できなかった。

報告書5頁の「男女共同参画に関する図書の実態」について、「書名や貸出の状況を知りたい。また、どこかに推奨マークのような差別化をしてあるのか。」という質問があったが、本に推奨マークの差別化はしていない。昨年度購入した本から男女共同参画に関するものに該当すると思われる本を探して報告している。また、書名や貸出の状況については、別紙資料の補足事項2頁の表を参考にさせていただきたい。また、同じく5頁の「心配ごと相談」について、「相談件数が増加しているのはコロナ禍が原因か。」という質問があったが、コロナ禍により相談件数が極端に減少していたのが、徐々に回復してきたと考えられる。

続いて、報告書6頁の「子ども家庭総合支援拠点の設置」について、「具体的に支援員は何名で、どんな活動をしているのか。妊産婦等虐待の早期発見のために支援拠点を設置したという解釈でよいか。」という質問があったが、常時2名の職員が必要とされており、令和5年度は3名で対応している。保育士資格があり更に専門研修を受けた者が、子ども家庭全般に係る業務や要支援児童・要保護児童等への支援業務を行っている。また、支援の対象に妊産婦等も含んでいるため、事業概要7に「妊産婦等虐待防止」の文言も追加する方針で考えている。

また、報告書15頁の「ノー残業デー」の実施について、「具体的に目標のどれくらい達成できたか。」という質問があったが、特に数値は出していない。勤務時間外の会議を実施しない、やむを得ず時間外勤務をする場合は、他の日をノー残業デーに振り替えるようにした。そして、「男性職員の育児休業取得について、20%以上の目標が達成できなかった理由は？」という質問があったが、令和4年度の男性職員の「育児参加等休暇の取得率」は、62.5%、「育児休業の取得率」は0%となった。理由としては、職場環境や休業による収入の減少などが取得率に関係していると考えられる。さらに、夏期休暇中の有給休暇を10日間取得できた職員の割合についての質問があったが、こちらの割合は、15.8%（33人）であった。

報告書18頁の「健康診査の実施表」について、「(特に胃がんで)令和4年度の受診率が上がったのは何か工夫があったのか。」という質問があったが、保健センターに確認したところ、胃がんについては過去の集計方法に誤りがあったため、町HPで公表する際は、修正した数値で改めて報告させていただく。また、受診率を上げるために、電話やハガキ等で案内をしている。

最後に、報告書26頁の「国際交流・協力の推進」について、実績と概要を記述した方が、重点課題である国際理解・協力の促進の現状が認識しやすいというご意見をいただいた。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により実績なしとなったが、実績についても今後は記載するようにしたい。

委員) 報告書3頁や5頁の相談件数については、コロナ禍前の数値があった方が比較検討できる。

- 委員) 報告書3頁の職場体験については中止となっているが、オンラインでのサポートなど、いろいろな形で体験ができたと思う。中学2年生にとって、職場体験が出来るのは中学2年生のこの1年しかない。来年度は実施してほしい。
- 委員) 報告書5頁の図書館の本の選定は、誰がしているのか? 「女子」「女性」という言葉が強く、男性が見やすいような本が少なく感じる。
- 事務局) 本の選定は司書が選んでいる。司書は女性が多いため、男性の視点で選んだ本が少なくなってしまうのかもしれない。司書だけでなく、役場内でも男性が多い部署、女性が多い部署があり、どうしても偏りが生じてしまうこともある。
- 委員) 男性の育休に関する本があればいいと思う。
- 委員) 報告書8頁について、「女性委員の導入が検討された。」とあるが、漠然としていて、報告書になっていない。
- 委員) どのように導入を検討したか、困っている、足りない現状も正直に記載すべきだ。問題提起を含めながら、現状を示し、事務局の考えを盛り込むのがよい。女性委員が未だ目標に届いていないということが伝わり、危機感に繋がる。
- 委員) 報告書15頁について、「特定事業主行動計画」の着実な推進とあるが、「特定事業主行動計画」が町民にとってあまり馴染みがない。内灘町の目標値と現状の数値、石川県や他市町の数値が参考として記載されていれば、比較検討ができる。
- 委員) 「ノー残業デー」とあるが、職員が夜の会議に出席することは多いのか?
- 事務局) 会議に出席される方は、日中はお勤めされている方が多いため、夜に会議をすることが多い。
- 委員) 対面だけではなく、オンライン会議にするなど、会議のやり方を工夫した方がいいと思う。
- 委員) 役場は、フレックスタイム制を導入していないのか。

事務局) 現状、導入していない。

委員) 「育児参加等休暇」という文言が気になった。まだ「参加」という表現なのか？古い考えだと思う。民間企業では、「参加」という文言がないところが多い。

委員) 法律的な縛りがあるのか？または、国や県と表現を統一しているのか。例えば、国と違って内灘町は「参加」という文言を削除しているという風にするのは男女共同参画の視点を大切にしているという1つのアピールにならないか。

事務局) 担当課に確認する。

委員) 22頁の「社会教育施設の整備」について、1文だけでは分からない。「全ての人」という表現が実は難しく問題になりやすい。1例でも2例でも、文化スポーツ課での事例を盛り込むべきだ。

事務局) いただいたご意見をもとに、報告書を修正し、町HPに報告させていただきます。

(2) 令和5年度事業について

① 内灘町女性協議会、男女共同参画室共催事業

会議資料2頁に基づき事務局と女性協議会に所属している岡野委員より説明。

事務局) 5月に珠洲地震があったことから、防災に関する意識を高められる内容のイベントが実施できればよいと考え、内灘町女性協議会と男女共同参画室共催で防災をテーマにした町民フォーラムを実施する。詳細が決まれば、改めてご案内する。

委員) 男女共同参画の視点を取り入れた内容で、他の防災セミナー等と差別化出来ればよい。

委員) 内灘町で起きやすい災害、災害時の男女の特徴の違い、災害時のトイレ問題、事前・事後でできること等の内容があればよいと思う。

委員) 男性や、子どもが参加しやすいチラシを作ってほしい。

委員) 「火事の際に救急車を呼んだ場合、どのように繋がるか？」等、町民フォーラムでどのようなことを学べるのか、チラシの中に具体例を入れた方がよいと思う。

岡野委員) いただいたご意見を参考にして、講師の先生と内容を検討する。

② ふらっとミニセミナー

会議資料3頁に基づき事務局より説明。

事務局) 今年度は「働く女性のマネーセミナー」をテーマとし、20代～50代の働く女性をターゲットに設定した。

委員) 男女ともに輝ける社会を目指す中で、なぜ女性にターゲットを絞ったのか。町が実施するセミナーであれば、なおさら男性も女性も参加できるようにすべきだと思う。

委員) マネーセミナーは他の企業でもやっている。特長がないと厳しいの

ではないか。「2024年度から始まる新NISAについて学べる」ということをPRすれば、対象が絞れるのでは。

事務局) 募集対象やテーマについては、いただいたご意見を反映させ、男性も女性も参加できるように見直したい。内容については、講師の先生と再度相談し、検討する。

③ 男女共同参画室、働く女性の家共催事業

会議資料4頁に基づき事務局より説明。

委員) 「骨盤・体幹ストレッチ講座」の受講料は、3,000円となっているが、町からもう少し補助が出ないのか? 町は、どのような補助をしているのか。

事務局) 町は、講師の方への謝礼などを負担しており、参加費が通常よりも安く抑えられている。「骨盤・体幹ストレッチ講座」は、例年参加者が多く人気があるため、参加費も特に変える予定はない。

委員) 参加者の年齢層はどのくらいか? また、男性と女性で分けたりせず、同じ部屋で実施しているのか。

事務局) 参加者の年齢の集計はしていないが、40代~50代が多いように感じる。今回の参加者は全て女性だが、男性の参加者がいた時も、特に分けたりしていない。

委員) リピーターが参加しやすいような講座を設定してほしい。

④ 令和5年度第2回委員会

事務局より、次回の令和5年度第2回委員会を令和6年2月頃に実施する旨を委員へお伝えした。

3 その他

特に意見等なし

— 閉 会 —